

人文学部 前期日程 令和5年度入学試験「総合問題」

解答および出題意図

Ⅰ

【出題意図】

英文は、大学生あるいは大学を志望する人のために書かれた、大学のホームページの平易な英文。英文の意味を正しく読み取っているかどうかを試す問題である。

問1 解答例

A high

B low

問2 解答例

他人の感情を理解する能力あるいは他人の立場に立つ能力 (31 字)

問3 解答例

ビジネス界のすぐれたマネージャーは高いEQを持ち、EQがそのすぐれた成績を生むこと。および、人の将来の成功を予測する際にEQはIQの4倍の力を持つこと。(72 字)

問4 解答例

IQの育成にばかり力を注ぎ、EQの育成を軽視していることが問題 (29 字)

問5 解答例

X (not, never)

Y (emotions)

Ⅱ

【出題意図】

「Ⅱ」は、共感に関する文章と、関連する実験データを読み解く問題であり、各問は、以下の意図から出題されている。

問1 計算問題であり、基礎的な算数・数学運用能力を測っている。表の意味を理解した上で段階的に計算を行う必要があり、論理的な思考能力も問うている。

問2 データから実験結果を適切に読み取り、そこから結論を導き出す批判的思考能力と、それを表現する能力を問うている。

問3 共感に関する専門的知見を適切に理解し、それを基に現実社会を分析し、背景を推論する能力を問うている。

【解答】

問1 2.2 (倍)

問2 解答例

実験 A 事前情報なしの場合、条件アでは条件イよりも寄付額が多いが、事前情報ありの場合、あまり差はみられない。特定の個人の情報を与えられるとその個人に共感しやすく、その結果、非合理的な判断が生じやすいが、人間がそうした非合理的な思考を行うことを事前に知っていれば非合理的な判断が生じにくい。(140字)

実験 B 条件アでは条件イよりも寄付額が多く、条件ウでは条件イと同程度である。特定の個人の情報のみを与えられた場合はその個人に共感しやすく、その結果、非合理的な判断が生じやすい。しかし、そこに客観的な統計情報を加わると、個人だけに共感しにくくなり、共感による非合理的な判断が生じにくい。(138字)

問3 解答例

有名人が SNS で飲食店に対する不満を投稿した際、それに共感した一部のファンによって、飲食店に対する誹謗中傷や嫌がらせ行為が行われた。ファンである有名人に対しては共感しやすいが、見知らぬ飲食店には共感しにくく、その結果、誹謗中傷などの不適切な行為が行われたと考えられる。(132字)

Ⅳ

問1 解答例

「人間は誰でも生まれつき同じように考えるから」(21字)

問2 解答例

「人間の本性はだれもが同じである。だから何人集まっても個人の感情は集団の選択に直結する。」(43字)

問3 解答例

例1

「仁斎・東涯は、誰しものが同じように「なさけ」を持ち、同じことに同じように感じるこ

を前提にしている。しかし、同じ文化の中に暮らしていても、本人の資質や環境によって感じ方は様々になるだろう。文化が違えばさらに多様である。仁斎のように「誰でも同じ」とすると、「自分と同じでないから」という理由で多数派が少数派を抑圧することを正当化しかねない。人間の本質的な「なさけ」というのはあるのかもしれないが、それがどこまでカバーするのも曖昧である。仁斎の人間観は画一的で同時に曖昧であり、多様でときにいがみ合うという要素を軽視していると批判を受けよう。」(269字)

例2

「仁斎・東涯は、周囲を思いやる「なさけ」を人間の本質であるとしているが、それは資源や食糧の欠乏などで苦しい状況に置かれてもなおそうだろうか。もちろん厳しい状況の中かでも慈愛に満ちた行動を取ることのできる人はいるかもしれないが、世界各地の災害直後の略奪事件などを想起すると、そのことを多数の人間に求めることは難しいように思われる。周囲と仲睦まじく、という仁斎の主張は、生活に余裕のある層においてのみ有効なものではないだろうか。この点は、暴政に対する反抗においても同様である。反抗するには、それだけのリソースが必要であろう。仁斎の主張は、恵まれた境遇からの非現実的なものと批判を受けよう。」(291字)

IV

【出題意図】

読解力，問題発見能力，言語運用力を総合的に評価する問題。I～IIIで出題された文章を読み解き，その内容（一つないし複数）を自らの議論の素材の一部に用いながら，首尾一貫した内容を組み立て，それを説得的に表現する実力を測る。計測にあたっては，問題I～IIIが扱っている「共感」に関わる良い点，悪い点のいずれかを

1. 適切に読解したうえで考えの立場を明示的に指摘し，
2. その内容に基づいて論点となる問題点を発見し，
3. 適切な言語表現を用いて自らの考えを整理し，論理的・説得的にまとめる
という3つの視点から評価する。